

# 愛知スキー協通信 No.293

発行：新日本スポーツ連盟 愛知スキー協会 2019年 7月1日

〒460-0011 名古屋市中区大須 1-23-13 TEL052-201-4801 (Fax 共)

e-mail : [aichiskikyokai@yahoo.co.jp](mailto:aichiskikyokai@yahoo.co.jp)

<http://aichiskykyou.yukigesho.com/>



編集：イエティ SC

## \*誰でも参加できるから48期総会にしよう

7月7日 日曜日

文責 愛知スキー協 理事長・技術部長兼任 寺田 康男

(みんなで、一つ上の指導員を目指そうプロジェクトメンバー)



### 総会目的・目標・48期のあり方・議論の進め方

- 1、参加者、クラブにとって「やくにたつ」総会にする。
- 2、シーズンの初めのスタート台にたつ場である、総会でしかできない話し合いの場にする。
- 3、仲間と、この先1年の活動の方向性を見いだせる論議をし、48期のスキー協を自分のものとする。
- 4、愛知スキー協の役割確認をする。

48期のあり方については、方針案の中から、重点項目を1点に絞り、分散会にて論議を深める。

スキー協で何がしたいかをはっきりさせ、やる気になる総会にします



- 1、全体会議のなかで、クラブ代表者、専門部長による報告の時間を取ります

①昨シーズンはじめての出来事は？

②そのために、したこと、していること、工夫していることをお話し下さい。(ここにしかない特色)

③行事をつくる側の、続けるための最近の困難さを報告下さい。(一昨年との違い)

以上の3点に触れて簡潔に1クラブ・1専門部、5分で発言してもらいたいとおもいます。

- 2、分散会では、二つに別れ、議論を中心に行います＝自己紹介は無くして

会議室を二部屋(第 会議室、第 会議室)借りてあります。それぞれの分散会で方針案の中から、

1つの重点項目を分散会で議論します。(1.5Hの予定)

- 3、分散会報告をしてもらいます

最後に全体会で分散会報告を受け、活動の方向性をまとめていきたいと思えます。これからクラブに関ってもらいたい人と、今中心的に関っている人が一緒に参加し、方向性を見出して来て良かったと思える総会にしていきたいとおもいます。(代議員数以上に参加くださることを望みます！)\*



- 4、参加者がどう感じ、どう行動するかが重要です。

総会后交流会の中でさらに深めましょう

## \*注意事項

総会代議員数は、決まっていますが誰でもオブザーバー参加できます

## アルペン競技用語解説⑬ 《大会の仕方2》

### ○ セッター (ジュリーメンバー)

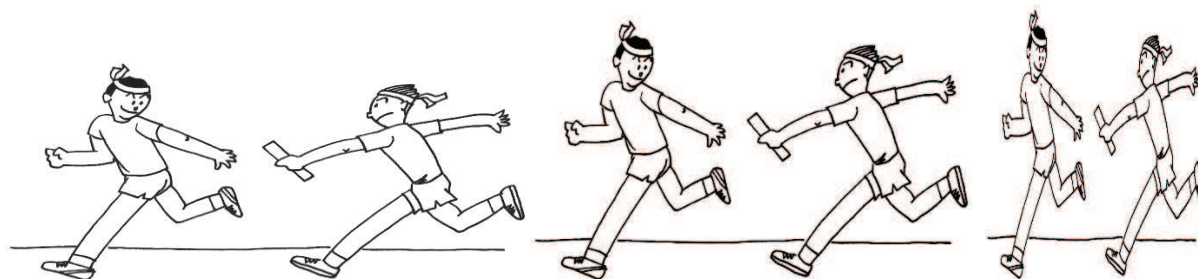
文字通りサブセッターやコース係の手を借りて競技会で滑るコースをセットします。雪面にドリルで穴を開けポールを差し込んでいってコースを作ります。その後マーキング

(ポールが元に戻せるようにポールの根元に染料等で印を付ける) ナンバーリング (何番目のポールか分かるようにする) フラッグ (SL にはない) がきちんとできているか等確認します。セッターとともにジュリーは安全なコースか確認します。最終的には、前走の滑りで確認します。

### ○ 旗門員

旗門審判長の指示の元、与えられた旗門を選手がきちんと通過したかを見ます。またフラッグが外れた場合戻せるときは速やか張り直します。結果は審判長に報告します。

審判長はそれを元に DQ を決めます。



## 全国勤労者スキー協議会50周年記念レセプション 2019.6.8

全国勤労者スキー協議会の創立50周年を記念するレセプションが池袋の「ピアノレストラン」にて行われました。参加者は来賓を含めて74名、会場一杯の参加者であふれていました。会場のスクリーンには、「白のエチュード」の映像が流され、昔のスキースタイルを懐かしむ人も多くいました。

全国スキー協の小川理事長のあいさつに続き、来賓あいさつがありました。そして、和田利夫副会長の乾杯の音頭で、記念レセプションが始まりました。ステージには東京スキー協の小柳光雄氏によるピアノの生演奏が披露され(腕前はセミプロ級とのこと)、イタリアンを堪能しました。

出席した各都道府県の代表の方からもあいさつがあり、つづいて、第2部として記念表彰がありました。表彰の対象となったのは、今年度で創立50周年を迎えた(50周年以上含む)、各都道府県のスキー協及びスキークラブでした、わが愛知スキー協の創立は1972年7月ですが、1966年3月7日、25名で設立された「愛知スキー愛好会」も前身として対象となり、愛知スキー協を代表して、寺田理事長が表彰を受けました。

そしてレセプションの最後は参加者全員で歌声で締めくくられました。全員で合唱した歌は「虹と雪のバラード(札幌オリンピックのテーマ曲)」「雪山賛歌」など、いずれもスキーや雪にかかわるものでした。



和田副会長より表彰状を受ける寺田理事長

# スキー協 第40回 東海ブロック スキー交流学習会

合同行事

会場：〒510-0303

三重県津市河芸町東千里 854-3

三重マリンセンター「海の学舎」

TEL059-245-5001

## 新日本スポーツ連盟 第12回東海ブロック スポーツセミナー

2019.9.7(土)~8(日)

健康マージャンは6日(金)13:00~17:00 ミーティングルームにて開催

やったことのないスポーツを体験できる「交流学習会」を企画しました。

スキー交流学習は、シーズンを迎える前にじっくりと学習と議論を深め、スキーの技術力・組織力を向上し合う場という位置づけです。指導員の研修会を兼ねますが、指導員を対象とした内容よりは、クラブ活動を楽しく、広く伝える為にどうすればよいのかを、体を動かして、交流しながら、学習しながら、みんなで考える為の行事です。指導員以外の人も楽しめる行事です！！

重点対象者はクラブで活躍してほしい人、上手くなってほしい人、指導員です。必ず参考になります。ぜひクラブで話し合い大勢連れ添って参加してください。

### スキー交流学習会内容

(スキー協東海ブロック長 寺田康男)

#### スポーツ体験「シーカヤック体験」

朝 8:30 集合、9:00 から 1.0H の予定です。

事前予約が必要です。

スキー協で 20 名の枠は確保します。

三重マリンセンター：近海

#### スポーツセミナー

9月8日(日) 8:30~受付

第1課 9:00~12:00

(AED・外傷等の処置)

「救急法の講習」

「ビデオ上映(地震等災害について)」

指導：津市北消防署河芸分署

第2課 13:00~15:00

80歳になってもスポーツを続けるための

「筋力トレーニング」

いしだ よしえ  
講師：石田 良恵氏

参加費：15,000 円

(カヤック体験・1泊・夕食・朝食・受講料・昼食  
×2・スポーツセミナー)

初級、中級指導員研修の方は1000円が要です。

(女子美術大学名誉教授・保健学博士)

## スケジュール

9月7日(土)

8:30 集合・受付  
 9:00 カヤック体験 1.0H  
 10:00 カヤック体験終了  
 10:30 「楽しいスキー教室の  
 受け方 創りかた」 1.5H  
 11:30  
 12:00 昼食  
 13:00 「皆でつくる競技会とは？」 2.0H  
 15:00 「クラブ力のポイント」 1.5H  
 17:30  
 夕食・交流会  
 19:30 「教程書の普及と  
 みんなの理解度」 1.5H  
 21:00  
 21:30 自由交流会  
 9月8日(日)  
 6:30 起床 朝起き体幹教室  
 7:00 朝食  
 8:30  
 9:00 スポーツセミナー第1課 (3  
 H)  
 12:00 昼食  
 13:00 スポーツセミナー第2課 (2  
 H)  
 指導員養成・研修講座  
 15:00 終了

### 第1課:講座 (スキー協にとっての教室の意義)

#### 「楽しいスキー教室の受け方創りかた」

技術を教え、伝達することは、指導員だけの役目と多くの方が思いがち、教室への参加は、誰もが出来る環境づくりのひとつと考えます。当然指導員のしなければならぬことも再確認します。また、組織をつくり、発展させることは何なのか議論を深めます。

担当：寺田康男

### 第2課:講座

(フェスティバルで何故競技会をやるの)  
 (教室の内容の充実・安全の補足)

#### 「皆でつくる競技会とは？」

担当：澤田安利

### 第3課:講座 (人が増えると何が良くなる)



#### 「クラブ力のポイント」

担当：浅井千恵

### 第4課:講座

(技術論座学)

#### 「教程書の普及とみんなの理解度」

担当：佐藤 実

**締切は7月29日(月)** クラブまたは県でまとめてください

15日前から宿泊キャンセルが発生します。問い合わせ先及びスポーツセミナービラ参照

## 2019 交流学習会申込書

名前	クラブ名	
項目に○をしてください		愛知・岐阜・静岡・三重・その他
カヤック体験(するしない)	宿泊) 宿到着予定	備考
指導員研修(初級・中級)	／	
指導員ではない	: 着	

集計先 寺田 自宅 FAX052-624-8973

e-mail: yasuhiromi@mta.biglobe.ne.jp